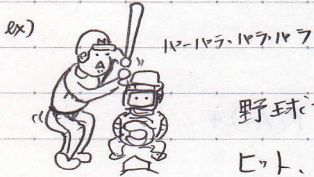


# 確率モデル

## 基本事項

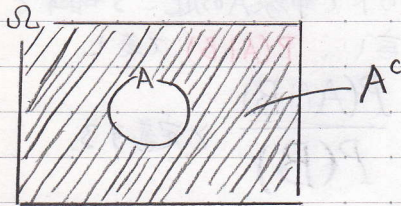
実験や観測などを**試行**、その結果の集合を**標本空間**、そして、その各要素を**標本点**という。



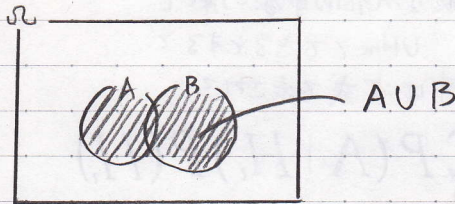
野球では打席に立つのが試行。その打席数が**標本空間**  
ヒット、HR、三振などが**標本点**となる。

標本空間の一部を**事象**と呼び、標本空間自身もそれに含まれ、 $\Omega$ で表す。(全事象)  
 また、空集合もそれに含まれ、 $\phi$ で表す。(空事象)  
 また、ただ1つの要素のみからなる事象を $\omega$ で表す。(根元事象)

$\Omega$  に対してある要素A以外の要素を  $A^c$  (complementary) で表す。



ある2つの要素A、Bの和事象を  $A \cup B$  (union) で表す。



ある2つの要素A、Bの積事象を  $A \cap B$  (intersection) で表す。

